

評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所名	グループホームげんきむら		
所在地	山口県光市島田2丁目22番11号		
電話番号	0833-71-6222	事業所番号	3571000193
法人名	有限会社 メディビス		

訪問調査日	平成 19 年 12 月 10 日	評価確定日	平成 20 年 5 月 19 日
評価機関の 名称及び所在地	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク 山口県山口市宮野上163-1-101		

【情報提供票より】

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員計	9 人
職員数	9 人	常勤 5 人 非常勤 4 人 (常勤換算 8 人)	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋鉄骨コンクリート 造り		
	5 階建ての	4 ~	5 階部分

(3) 利用料等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃	月額 15,000 円	敷金	有 10万 円
保証金	無 円	償却の有無	無
食費	朝食 300 円	昼食	450 円
	夕食 450 円	おやつ	0 円
その他の費用	月額 11,000 円		
	内訳 共通光熱費 5,000円 日用品 2,000円 共益費 3,000円 事務管理費 1,000円		

(4) 利用者の概要 (12月10日現在)

利用者数	9 名	男性 0 名	女性 9 名	
	要介護1	2	要介護4	1
	要介護2	2	要介護5	
	要介護3	3	要支援2	1
年齢	平均 86.5 歳	最低 75 歳	最高 98 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療 機関名	医科 光中央病院 歯科 諏訪歯科医院
-------------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

(優れている点)

市の中心部に位置し、公園、商店街、スーパー、図書館等の公共施設、神社仏閣が近いこと、利用者一人ひとりの希望に応じ、散歩や買物など出かけることを日常的に楽しみ、日々を明るく暮らしておられます。協力病院が近くにあり、全面的な支援体制の中、利用者の安心、安全に繋がっています。

(特徴的な取組等)

入浴は、毎日18時から20時まで行なわれています。就寝前の入浴は利用者にも好評で安眠効果もあります。居室は本来個室対応ですが、同郷利用者と家族の希望により、柔軟な対応をしており、二人部屋とすることで、双方の利用者の安心感や孤独、寂しさの改善になっています。

【重点項目への取組状況】

(前回の評価結果に対するその後の取組状況)

緊急事態や事故に備えてのマニュアルや共通理解の為に研修は不十分ですが、搬送のためのリクライニング車椅子が配置されました。

(今回の自己評価の取組状況)

職員が分担して自己評価をしておられます。全職員での検討はされていません。

(運営推進会議の取組状況)

2ヶ月に1回開催し、地域包括支援センター職員、自治会長1名、家族、利用者、運営者、法人役員、管理者が参加され、行事や利用者の状況を報告しておられます。

(家族との連携状況)

家族会もあり、家族の訪問も多く、家族来訪時に情報交換がされています。手書きのホーム便りを2ヶ月に一回発行し、毎月請求書の送付時に利用者の暮らしぶりや健康状態を合わせて報告されています。

(地域との連携状況)

自治会には加入していませんが、市広報などの回覧文書が届けられ、市や地域の様子、行事などを把握し、公民館祭りや今昔市へ参加したり、ホームの運動会や作品展へ地域の方達をお招きし、交流されています。散歩や買物など、出掛けることが多いので、声かけや立ち話により、地域への馴染みもあります。

評価結果

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>理念に基づく運営 1. 理念の共有</p>			
1 (1)	<p>地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。</p>	<p>法人の経営理念はあるが、地域密着型サービスの視点を持った事業所独自の理念はない。</p>	<p>・地域密着型サービスの理念の作成</p>
2 (2)	<p>理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>経営理念に添って、日々取り組んでいる。</p>	
<p>2. 地域との支えあい</p>			
3 (7)	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>自治会には加入していないが、広報等の配布はあり、市や地域の行事などを理解している。自治会行事は特にないが、散歩や川土手の草取り、理髪店やクリーニング店その他商店を日常的に利用することで地域との関係を深めている。</p>	
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
4 (9)	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>前回の指摘事項は改善に向け取り組んでおり、運営推進協議会への提言、業務の見直しなどの参考にしている。自己評価は全職員での検討がされていない。</p>	<p>・評価の意義について理解 ・全職員での取り組み</p>
5 (10)	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしている。</p>	<p>2ヶ月に1回実施し、地域包括支援センター、自治会長1名、家族、利用者の代表、運営者、法人役職員、管理者が参加している。行事と利用者の状況を報告している。</p>	<p>・地域代表メンバーの拡大 ・外部評価結果の提示と意見交換</p>
6 (11)	<p>市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市との連携はあり、2ヶ月に1回開催される市主催の研修会や連絡会議には必ず参加している。ホーム作り作成時には持参し、相談しやすい関係づくりをしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践する為の体制			
7 (16)	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	手書きのホームだよりを2ヶ月に1回発行し、利用者の暮らしぶりや健康状態などは、毎月請求書送付にあわせ報告している。面会時にも家族と情報交換をし、金銭管理状況を報告している。	
8 (18)	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているとともに、相談や苦情を受け付ける窓口及び職員、第三者委員や外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。	苦情受付体制を明示し、苦情処理手続きも定めている。外部機関は当該市だけであり、第三者委員の選任はない。	・全ての外部機関の明示 ・第三者委員の選任
9 (20)	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう夜間を含め必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	常勤5名、非常勤4名を確保し、緊急時には管理者や臨時職員の対応で調整している。	
10 (21)	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、変わる場合は利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動は最小限に抑えると共に、異動の際は混乱をきたさないよう努力をしている。	
5. 人材の育成と支援			
11 (22)	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内でも定期的にしており、外部研修についても参加しやすいよう配慮している。	
12 (24)	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	全国グループホーム協議会には加入しているが、遠方のため交流会等には参加せず、電話で連絡をとっている。	・県内及び地域内での連絡会への参加

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>			
13 (31)	<p>馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	面接や、ホーム見学など、安心して利用できるよう配慮している。	
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
14 (32)	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	散歩や買物、献立を考え調理をするなど、生活を一緒にすることで共感し、支えあう関係を築いている。	
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握</p>			
15 (38)	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	利用者との会話や言葉を大切に、一人ひとりの暮らし方の希望や意向を把握し本人本意に検討している。	
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
16 (41)	<p>チームで作る利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>	ケア計画は月1回のケアカンファレンスで作成し、本人や家族の意向を聞きながら、職員、関係者と話し合い、利用者一人ひとりにあった介護計画を作成している。	
17 (42)	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行なうとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	期間に応じた見直しのほか、状況に変化があったときには随時見直し、現状にあった介護計画を作成している。	
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
18 (44)	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	墓参りや自宅訪問、行きつけの美容院への送迎、以前の居住地での選挙投票、歯科や病院受診の支援を行っている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
19 (49)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	家族の希望を大切にしながら、病院への受診や往診、定期健康診断など適切に対応している。	
20 (53)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重症化や終末期の対応はしていない。家族とは早い段階で話し合っている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
21 (56)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。	言葉使いや対応は適切で、記録物などの管理も配慮している。	
22 (59)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お寺参りなど一人ひとりのペースを大切にし、希望に沿って支援している。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
23 (61)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の好みを聞き、3食共ホームで調理して、共に食事をとり、後片付けも一緒にしている。利用者からの希望で「大根の皮を使ったきんぴら」もあり、食を楽しんでいた。	
24 (64)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しむように支援している。	入浴は毎日18時から20時頃まで行ない、安眠に繋がっている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
25 (66)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした活躍できる場面づくり、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	散歩、買い物、洗濯物干しや取り込み、調理や後片付け、編み物、寺参りや法話、神社への参詣などの楽しみ事や気晴らしの支援をしている。	
26 (68)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	近隣施設に恵まれており、ホーム近くの河川公園、スーパーや商店街への買物、お寺や神社への参詣、図書館の利用など戸外に出かけられるよう支援している。	
(4) 安心と安全を支える支援			
27 (74)	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が、「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)を正しく理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。	身体拘束や言葉の拘束について全職員は理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。	
28 (75)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	職員のきめ細かな見守りのもとに、日中は出入り口の施錠はしていない。階段を自由に昇降し居室とリビングの間を行き来し、エレベーターも使用している。	
29 (78)	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故・ヒヤリはっと報告書は記載されている。緊急連絡網は作られているが、緊急事態や事故が発生した時のマニュアルが作成されていない。	・マニュアルの作成および研修と訓練
30 (79)	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	不測の事態に備えての初期対応訓練や応急手当などの研修は行っていない。	・日頃からの研修と訓練
31 (81)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防訓練は年2回行っている。地域の協力を得るための働きかけはしていない。	・地域への協力要請

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取 組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
32 (84)	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めているとともに、必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。	病院や薬剤師の指導や連携、薬の情報書などにより服薬している薬の目的、副作用等理解し服薬の支援をしている。必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。	
33 (86)	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力量に応じた支援をしているとともに、歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。	共有の洗面所、居室、食堂などに歯ブラシを置き、毎食後口腔ケアの支援をしている。義歯の清掃や保管についての支援も行っている。	
34 (87)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事の摂取量や水分摂取量は記録し、栄養バランスや水分の摂取量が不足しないよう気をつけている。	
35 (88)	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	感染症マニュアルを作成し、共通理解している。	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
36 (91)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮するとともに、生活感や季節感など五感に働きかける様々な刺激を採り入れて、居心地よく・能動的に過ごせるような工夫をしている。	共用空間は5階にあり、眺望にもすぐれ、ベランダへの出入りも容易で気分転換しやすい。畳の間やソファを配したリビングもあり、各自の思いにあわせ自由に使う事ができ、リラックスしている様子だった。	
37 (93)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	筆筒や仏壇も持ち込まれ、写真や装飾品や観葉植物、自分の作品や習字等を飾り、その人らしい居室となっている。畳がいい人にはマットを敷いて布団を引いたり、同一地区からこられた二人の利用者は寂しさを補う為、同室で暮らすなど、柔軟な対応をしている。	

自己評価書

【ホームの概要】

事業所名	有限会社 メディビス
所在地	山口県光市島田2丁目22番11号
電話番号	0833-71-6222
開設年月日	平成 13 年 4 月 1 日

【サービスの特徴】

毎日の夕食後の入浴
三度の食事を入居者を混えて、会話を楽しみながらゆっくり作る
24時間いつでも職員が付き添い病院を受診できる

【実施ユニットの概要】 (11月1日現在)

ユニットの名称	グループホームげんきむら			
ユニットの定員	9 名			
ユニットの 利用者数	9 名	男性 0 名	女性 9 名	
	要介護1	2	要介護4	1
	要介護2	2	要介護5	
	要介護3	3	要支援2	1
年齢構成	平均 86.5 歳	最低 75 歳	最高 98 歳	

【自己評価の実施体制】

実施方法	職員が手分けして記入
評価確定日	平成 19 年 11 月 17 日

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り 組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	項目ともに実施出来ている 食事・排泄表などに組み入れ、職員の目のとまる所へ提示	職員で声を掛け合いながら向上していく
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	常に御家族と連絡を取り合い(電話など)、又個々に観察をしっかりと心を含めて援助を行う	常に御家族と連絡を取り合い(電話など)、又個々に観察をしっかりと心を含めて援助を行う
3	運営理念の明示 管理者は、職員に対し、事業所の運営理念を明確に示している。	出入口、あるいは掲示板に掲示している	出入口、あるいは掲示板に掲示している
4	運営者や管理者の取り組み 運営者や管理者は、それぞれの権限や責任を踏まえて、サービスの質の向上に向け、職員全員と共に熱意をもって取り組んでいる。	困難なこと、嬉しかったこと、ささやかな事であっても職員全員で共有し、取り組んでいる	困難なこと、嬉しかったこと、ささやかな事であっても職員全員で共有し、取り組んでいる
5	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	苑便りなどの配布 推進委員会などのときに内容の説明	苑便りなどの配布 推進委員会などのときに内容の説明
2. 地域との支えあい			
6	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえようような日常的な付き合いができるよう努めている。	写真店、理容院、美容院、クリーニング店など地域の商店を利用 又、散歩の時、積極的に声をかける	写真店、理容院、美容院、クリーニング店など地域の商店を利用 又、散歩の時、積極的に声をかける
7	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	お寺の集会などに声をかけていただき参加している 町内会長さんより公報の配布をもらっている	今後地域活動などにも参加していきたい
8	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	自治会長さん、地域の方々との話し合いはしているが、今後の取り組みとしている	自治会長さん、地域の方々との話し合いはしているが、今後の取り組みとしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
9	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	きちんと受け止めて改善に取り組んでいる	きちんと受け止めて改善に取り組んでいる
10	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスに活かしている。	御家族、地域の方たちの活発な意見の交換の場となっている サービスに生かしている	御家族、地域の方たちの活発な意見の交換の場となっている サービスに生かしている
11	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。	苑便り発行時、直接持参配布している	苑便り発行時、直接持参配布している
12	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用するよう支援している。	県や地域研修に参加している	県や地域研修に参加している
13	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修などに参加 ミーティングで日々話し合う	研修などに参加 ミーティングで日々話し合う
4. 理念を実践するための体制			
14	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約したりする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	まずはご家族の話をしっかり聞いて納得安心していただけるよう十分な説明を行う	まずはご家族の話をしっかり聞いて納得安心していただけるよう十分な説明を行う
15	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	管理者や職員の方からそれとなく日常の会話から引き出せるよう工夫している ミーティングなどで話し合い反映させる	管理者や職員の方からそれとなく日常の会話から引き出せるよう工夫している ミーティングなどで話し合い反映させる
16	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	苑だより及び利用料請求書送付時に近況報告を入れるとともに面会時に報告	苑だより及び利用料請求書送付時に近況報告を入れるとともに面会時に報告

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17 情報開示要求への対応 利用者及び家族等からの情報開示の要求に応じている(開示情報の整理、開示の実務等)。	要求にいつでも応じられるよう準備している		要求にいつでも応じられるよう準備している
18 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させているとともに、相談や苦情を受け付ける窓口及び職員、第三者委員や外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確に定めている。	明確に定め、公の機関など窓口の明示をしている 現在苦情なし		明確に定め、公の機関など窓口の明示をしている 現在苦情なし
19 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎日のミーティングや月1回の職員の話し合いなどに意見や提案を聞いている		毎日のミーティングや月1回の職員の話し合いなどに意見や提案を聞いている
20 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、夜間を含め必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	運営者、管理者、職員で話し合いや勤務の調整を行っている		運営者、管理者、職員で話し合いや勤務の調整を行っている
21 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動など最小限に抑える努力はしている		異動など最小限に抑える努力はしている
5. 人材の育成と支援			
22 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修など積極的に受けるよう努力している		ベテラン職員の技術・経験・知識を若いスタッフに伝える スタッフを確保し、養成する
23 職員配置への取り組み 多様な資質(年代、性別、経験等)をもった職員を配置することにより、多様な利用者の暮らしに対応している。	30代から70代の職員を配置し、それぞれの要素をいかした対応をしている		30代から70代の職員を配置し、それぞれの要素をいかした対応をしている
24 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	光市主催の会議に参加している 電話などで連絡を取り合っている		今後の課題 - ネットワーク作り

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。		職員の確保による業務過多の軽減に取り組みたい
26	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。		運営者と現場のコミュニケーションを大切にしたい 年末行事におけるの表彰を行いたい
27	職員の業務に対する適切な評価 運営者は、高い専門性やリスクを要求される管理者や職員の業務に対し、処遇等における適切な評価に努めている。		技術や資格等による評価 ヒヤリハットや気づきの報告が多く提出された場合は評価したい
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
28	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。		それぞれ個人的に話しやすい環境づくりを工夫している
29	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。		来訪の時、あるいは電話で常に連絡をとり色々と相談を受けている
30	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。		しっかり受け止め一緒に真剣に考えている
31	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		話し掛けにより心を開かれ安心感を持っていただいた時点で本人家族に相談しながら計画書の作成
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
32	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		対等の立場と考え、色々と旅行や献立、行事などの事を話し合っている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
33	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	より良い支援をしていく上で、家族と一緒に考え実行している		げんきむらだよりを2ヶ月に1度発行している
34	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。	問題が起きた時点で、すぐに家族に連絡をとり、解決に向けて話し合いをしている		家族への連絡を怠らない
35	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	気軽に面会に来れる環境にあり、又、こちらから出向く事もある		車で以前に住んでいた場所など巡っている
36	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の衝突が起こらないよう事前に回避している		利用者同士協力し合い壁飾り作りなどしている
37	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	大切にしている		こちらからは家族に連絡をとっている
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握				
38	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向に従い、日常の活動をしている		本人の意向は尊重している
39	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	生活歴、利用の経過を把握している		フェースシートなどによりこれまでの暮らしは把握している
40	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人一人にあった日常の過ごし方に努めている		一人一人に合った日常生活(炊事・裁縫・園芸)に取り組んでいる

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
41	チームで作る利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族の意見、職員の意見を反映した計画を作成している	介護計画は家族に確認の印を押してもらっている
42	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	その都度見直しを行い、より良い介護に向けて計画を作成している	変化が生じた時は話し合いを行っている
43	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録に毎日記入している	継続事項は終了するまで記録している
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
44	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	柔軟な支援をしている 本人御家族の要望に極力応じている	柔軟な支援をしている 本人御家族の要望に極力応じている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
45	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	協力しながら支援している	民生委員には会議に参加してもらっている 警察の協力も得ている
46	事業所の地域への開放 事業所の機能を、利用者のケアに配慮しつつ地域に開放している(認知症の理解や関わり方についての相談対応・教室の開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受け入れ等)。	随時見学を受け入れている	地域での行事に参加している
47	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他の介護支援専門員やサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	本人の意向に応じて他のサービスを利用する体制が整っている	本人の意向があれば他のサービスも利用していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	そういった場面が出た場合協働している		そういった場面が出た場合協働している
49 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人の希望や日常観察をしっかりとして体調異変の時などすぐに受診 家族の希望を大切にしている		本人の希望や日常観察をしっかりとして体調異変の時などすぐに受診 家族の希望を大切にしている
50 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	主治医に相談しながら、必要が出てきた場合診断や治療を受ける		主治医に相談しながら、必要が出てきた場合診断や治療を受ける
51 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員(母体施設の看護師等)あるいは地域の看護職(かかりつけ医の看護職、保健センターの保険師等)と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	関連病院の看護師との連携を密にとっている 日常的に相談をしている		関連病院の看護師との連携を密にとっている 日常的に相談をしている
52 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時度々面会に訪れ、看護師・ケアマネジャーとの情報交換を行っている		入院時度々面会に訪れ、看護師・ケアマネジャーとの情報交換を行っている
53 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	御家族、かかりつけ医、職員と早い段階で話し合っている 特にご家族の意思の尊重		御家族、かかりつけ医、職員と早い段階で話し合っている 特にご家族の意思の尊重
54 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	かかりつけ医と十分に連絡を取って、一丸となって支援に取り組んでいる		かかりつけ医と十分に連絡を取って、一丸となって支援に取り組んでいる
55 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入院によるものだけで現在まで住み替えなし		住み替えになった場合、本人御家族と十分の話し合いを持ちたいと思っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
56	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p>	言葉かけには十分配慮している	
57	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	説明には理解できるように気を配っている	言葉かけには十分配慮している
58	<p>“できる力”を大切にされた家事への支援</p> <p>家事(調理、配膳、掃除、洗濯、持ち物の整理や補充、日用品や好みの物などの買い物等)は、利用者の“できる力”を大切にしながら支援している。</p>	個人の能力に応じて家事全般を支援している	個人の能力に応じて家事全般を支援している
59	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	寺への参拝など信仰心を大切にしていきたい 好きな事、やりたい事を把握して支援する	寺への参拝など信仰心を大切にしていきたい 好きな事、やりたい事を把握して支援する
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
60	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	好みに応じて出かけてもらう 特に外出時には服装には十分気をつける	好みに応じて出かけてもらう 特に外出時には服装には十分気をつける
61	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	配膳、下膳なども応じてやってもらう	配膳、下膳なども応じてやってもらう
62	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて、日常的に楽しめるよう支援している。</p>	女性ばかりの為、飲酒・喫煙の方はおられない お茶・コーヒー・ジュース・ヤクルト・牛乳など	女性ばかりの為、飲酒・喫煙の方はおられない お茶・コーヒー・ジュース・ヤクルト・牛乳など
63	<p>気持ちのよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	2時間おきに声かけを実施しているが、なるべくパッドが濡れないよう気をつけている	2時間おきに声かけを実施しているが、なるべくパッドが濡れないよう気をつけている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。		夕食後より入浴を実施する事により、夜間の安眠が出来るようにしている
65	安眠休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう支援している。		朝食後、など応じて休んでもらう
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
66	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした活躍できる場面づくり、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		毎日のレクリエーション、散歩などを通して、気分転換をはかってもらう
67	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や状態に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。		使える範囲の中で、必要な物を購入できるようにしている
68	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。		毎日散歩に出られるよう応じている
69	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。		希望に応じて、季節感が味わえるようにバス旅行などにも出かける
70	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。		好きな時に電話ができるようにしている
71	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。		居室などでゆっくり会話できるようにしている
72	家族の付き添いへの支援 利用者や家族が家族の付き添いを希望したときは、居室への宿泊も含め適切に対応している。		対応している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
73 家族が参加しやすい行事の実践 年間の行事計画の中に、家族が参加しやすい行事を取り入れ、家族の参加を呼びかけている。	行事参加への声かけは行うが、参加者は少ない		行事参加への声かけは行うが、参加者は少ない
(4)安心と安全を支える支援			
74 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び言葉や薬による拘束(スピーチロックやドラッグロック)を正しく理解しており、抑制や拘束のないケアに取り組んでいる。	拘束に対しての知識を理解している やむを得ない場合のみ		拘束に対しての知識を理解している やむを得ない場合のみ
75 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は開放し、夜間のみ施錠(18:00~8:00)		日中は開放し、夜間のみ施錠(18:00~8:00)
76 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	日中の見守り・夜間の見まわり(3時間おき)で対応する		日中の見守り・夜間の見まわり(3時間おき)で対応する
77 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	必要に応じて使用されているが、使用時は十分注意をする		必要に応じて使用されているが、使用時は十分注意をする
78 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	マニュアル作成、訓練等で事故防止に取り組む		マニュアル作成、訓練等で事故防止に取り組む
79 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	マニュアルに応じて初期対応し、病院との連携をはかる		マニュアルに応じて初期対応し、病院との連携をはかる
80 再発防止への取り組み 緊急事態が発生した場合や、発生の可能性が見られた時には、事故報告書や“ヒヤリはっと報告書”等をまとめるとともに、発生防止のための改善策を講じている。	“ヒヤリはっと報告書”の提出		事故後の反省会の実施をすると良い

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
81 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回の訓練 夜間及び地域ぐるみの訓練は今後実施予定		12月に夜間帯訓練予定 地域の協力の呼びかけ
82 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	その時々に応じて話し合いを持ち、説明して理解を得ている		その時々に応じて話し合いを持ち、説明して理解を得ている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
83 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	病院との連携により早期発見に努めている		病院との連携により早期発見に努めている
84 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めているとともに、必要な情報は医師や薬剤師にフィードバックしている。	病院との連携により服薬に対しては気を配っている（特に誤薬）		病院との連携により服薬に対しては気を配っている（特に誤薬）
85 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	日中の活動を多くする事により、薬に頼らないよう気をつけている		入居者全員便秘薬服用なし
86 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしているとともに、歯ブラシや義歯などの清掃、保管について支援している。	毎食後の口腔ケアの実施をしている 歯ブラシは毛先がひらくと交換していくようにする		寝る前にポリデントにつけてもらえるようになると良いのではないかと思う
87 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	10時・15時のお茶の時間、外出後の水分補給、飲みたい時に飲めるお茶の用意		10時・15時のお茶の時間、外出後の水分補給、飲みたい時に飲めるお茶の用意
88 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。	マニュアル作成		マニュアル作成
89 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	冷蔵庫内の掃除、買物は毎日出かけ新鮮なものを購入		冷蔵庫内の掃除、買物は毎日出かけ新鮮なものを購入

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
90	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前に名称の提示	玄関前に名称の提示
91	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮するとともに、生活感や季節感など五感に働きかける様々な刺激を採り入れて、居心地よく・能動的に過ごせるような工夫をしている。	季節感がもてるよう掲示物にも気を配り、活気ある日々が過ごせるようにしている	季節感がもてるよう掲示物にも気を配り、活気ある日々が過ごせるようにしている
92	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	思い思いの場所でくつろげるようにし、それぞれ居場所が自然に決まってきた	思い思いの場所でくつろげるようにし、それぞれ居場所が自然に決まってきた
93	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたものなど持参されている 又、自作のものを飾ったりされ、思うように過ごしている	使い慣れたものなど持参されている 又、自作のものを飾ったりされ、思うように過ごしている
94	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	居室・トイレなどは特に換気、消臭に気を配っている	居室・トイレなどは特に換気、消臭に気を配っている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
95	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送ることができるように工夫している。	建物内部は十分とは言えないが、見守りによって安全を保っている	建物内部は十分とは言えないが、見守りによって安全を保っている
96	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	職員の声かけにてその場の対処をしている	職員の声かけにてその場の対処をしている
97	建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	立地条件により畑等はないが、花壇・ベランダに鉢植えなどを置いて季節の花を楽しめるようにしている	立地条件により畑等はないが、花壇・ベランダに鉢植えなどを置いて季節の花を楽しめるようにしている

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
. サービスの成果に関する項目			
98	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者の 利用者の1/3くらいの	利用者の2/3くらいの ほとんど掴んでいない
99	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。	<input type="checkbox"/> 毎日ある たまにある	数日に1回程度ある ほとんどない
100	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の1/3くらいが	利用者の2/3くらいが ほとんどいない
101	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている。	ほぼ全ての利用者が 利用者の1/3くらいが	<input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが ほとんどいない
102	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の1/3くらいが	利用者の2/3くらいが ほとんどいない
103	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の1/3くらいが	利用者の2/3くらいが ほとんどいない
104	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。	ほぼ全ての利用者が 利用者の1/3くらいが	<input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが ほとんどいない
105	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての家族等と 家族の1/3くらいと	家族の2/3くらいと ほとんどできていない
106	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。	ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> たまに	数日に1回程度 ほとんどない
107	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="checkbox"/> 大いに増えている あまり増えていない	少しずつ増えている 全くいない
108	職員は、生き活きと働けている。	ほぼ全ての職員が 職員の1/3くらいが	<input type="checkbox"/> 職員の2/3くらいが ほとんどいない
109	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が 利用者の1/3くらいが	利用者の2/3くらいが ほとんどいない
110	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての家族等が 家族等の1/3くらいが	家族等の2/3くらいが ほとんどできていない